

(3) 特別活動の充実

一人一人の子どもが、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく築いていくことができるよう、必要な資質・能力の育成に努める。

実践事項

★は、特に力点を置いて取り組んでいただきたい実践事項

1 自主的、実践的な活動を促進するための、全体計画及び年間指導計画の作成

- ・全教職員の共通理解の下、特別活動の目標を調和的かつ効果的に達成するための全体計画の作成及び見直しを行う。
- ・児童生徒の実態を踏まえて、家庭・地域社会との連携を図りながら、各活動・学校行事それぞれについての年間指導計画を作成する。

2 自主的な態度を育てる学級活動の工夫

- ・事前指導・事後指導を含む基本的な学習過程を確立させる。
※学習過程の例（問題の発見・確認→解決方法の話合い→解決方法の決定→決めたことの実践→振り返り）
- ★児童生徒が見いだした課題について、意見の違いや多様な考えを認め合い、折り合いを付け「合意形成」したことを実践し、振り返る活動を充実させる。 [学級活動（1）]
- ・日常生活における問題の原因や対処の方法についての話合いを生かして、自己の課題の解決方法等を「意思決定」し、決めたことを粘り強く実践できるよう指導を工夫する。 [学級活動（2）（3）]
- ・自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために「意思決定」して実践することに、自主的、実践的に取り組ませる。 [学級活動（3）]

3 自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫

- ・児童生徒による自主的、実践的な活動が展開できるよう、児童生徒の発想や創意工夫を生かした活動計画を作成する。
- ・学校生活の充実や向上を目指した児童生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるよう指導及び支援を充実させる。
- ・異年齢集団による交流を通じた、よりよい人間関係を深める活動を充実させる。

4 児童の個性の伸長を図り、触れ合いを深めるクラブ活動の工夫

- ・活動の教育的意義について共通理解を図り、学校、児童、地域の実態を考慮した指導計画を作成する。
- ・興味・関心をより深く追求しながら、自分たちが計画したことを実現できる満足感や学年が異なる仲間と協力して活動を進められた喜びを感じられるよう指導の工夫をする。
- ・活動を通して育てたい資質・能力を地域と共有し、外部講師や地域の教育力を積極的に活用する。

5 集団への所属感や連帯感を深める学校行事の工夫

- ・学校や児童生徒、地域の実態を踏まえ、内容の精選や重点化を図り、ねらいと育成を目指す資質・能力を明確にした系統的な指導計画を作成し、組織的に指導する。
- ・児童生徒に行事の目的や内容等を伝え、意欲をもって積極的に活動に取り組めるよう事前指導を工夫する。
- ・自分のよさや可能性を認識できるような自己評価や相互評価による振り返りを行い、事後指導を充実させる。